

令和6年人口動態統計月報年計（概数） 高知県の概数

指標項目	人 数 (件数)	対令和5年 (確定数) との増減	率		【参考】 令和5年までの高知 県の最大・最小値	
			高知県	全 国	最大値	最小値
出 生	3,108	△272	4.8 (5.1)	5.7 (6.0)	28,656 [S22年]	3,380 [R5年]
死 亡	11,439	1	17.6 (17.3)	13.3 (13.0)	20,105 [T7年]	7,014 [S62年]
自然増減	△8,331	△273	△12.8 (△12.2)	△7.6 (△7.0)	16,550 [S23年]	△8,058 [R5年]
合計特殊出生率 (注3, 4)			1.25 R5 (1.30) R4 [1.36]	1.15 R5 (1.20) R4 [1.26]	2.03 [S49年]	1.29 [H21年]
婚 姻	2,071	86	3.2 (3.0)	4.0 (3.9)	10,986 [S22年]	1,985 [R5年]
離 婚	1,074	9	1.65 (1.61)	1.55 (1.52)	1,995 [H13年]	644 [S13年]
分母に用 いた人口 (注5)	649,000	△11,000	—	—		

- (注) 1 出生率、死亡率、自然増減率、婚姻率、離婚率は人口千人に対する発生率
2 () 内の数値は令和5年の確定値、[] 内の数値は令和4年の確定値
3 合計特殊出生率は、その年次の15歳から49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、1人の女性が仮にその年次の年齢別出生率で一生の間に生むとしたときのこども数に相当する。
4 参考の合計特殊出生率については、昭和49年以降の数値による。
5 分母に用いた人口は、総務省統計局の資料に基づき、令和6年10月1日現在の人口を厚生労働省政策統括官付参事官付人口動態・保健社会統計室で推計したものによる。

結果の要約（令和6年）

1 出生数は減少

出生数は3,108人で、前年より272人減少し、過去最少となった。出生率は人口千対4.8で、前年の5.1を0.3ポイント下回った。

2 死亡数は横ばい

死亡数は11,439人で、前年より微増（1人増加）となり、死亡率は人口千対17.6で、前年の17.3を上回った。

死因別にみると、死因順位の第1位は悪性新生物＜腫瘍＞（全死亡者に占める割合は21.8%）、第2位は心疾患（高血圧性を除く）（同14.4%）、第3位は老衰（同11.9%）第4位は脳血管疾患（同6.6%）となった。

3 人口の自然減は拡大

出生と死亡との差である自然増減数は△8,331人で過去最大の減少。前年の△8,058人より273人減少し、自然増減率は人口千対△12.8（前年△12.2）となった。

4 合計特殊出生率は低下

合計特殊出生率*は1.25で、前年の1.30を0.05ポイント下回り、過去最低となった。
（*合計特殊出生率は、その年次の15歳から49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、1人の女性が仮にその年次の年齢別出生率で一生涯の間に生むとしたときのこども数に相当する。）

5 婚姻件数は増加

婚姻件数は2,071組で、前年より86組増加し、婚姻率は人口千対3.2で、前年の3.0を上回った。

6 離婚件数は横ばい

離婚件数は1,074組で、前年より微増（9組増加）となり、離婚率は人口千対1.65で、前年の1.61を上回った。

7 自殺者数、自殺死亡率ともに増加

自殺者数は126人で、前年から5人増加し、自殺死亡率は人口10万対19.4で、前年より1.1ポイント増加した。